

2022年3月10日

報道関係各位

筆記具を超えた芸術品、100余年の歴史を受け継ぐ窯元「李荘窯」の逸品

『有田焼ボールペン』

2022年3月20日(日) 発売

セーラー万年筆(社長:比佐泰、本社:東京都港区)は、「有田焼ボールペン」を2022年3月20日(日)より全国のセーラー万年筆製品取扱販売店にて発売いたします。

■『有田焼ボールペン』

明治時代後期、有田に技術者として招かれた曾祖父から100余年の歴史を受け継ぐ窯元『李荘窯』、「美しいものは永遠」という想いのもと、時代に左右されない美しい形を追求し、自らもデザインを考案しながら器の制作に取り組んでいます。同じく100余年の歴史を歩む『セーラー万年筆』。セーラーの匠たちが持つ「今に甘んじることなくより高度な技を」という想いと『李荘窯』の想いが響きあい生まれた製品です。歴史を残しながら、現代的に造り込まれ、細部までこだわり抜いたボールペンです。筆記具を超えた芸術品に値する逸品です。

染付波千鳥
(そめつけなみちどり)



赤絵牡丹
(あかえぼたん)



染付波千鳥

「共に荒波を乗り越えていく」という意味があり、夫婦円満や家内安全などの縁起の良い柄と言われ、波を世間に例え、大波も小波も一緒に乗り越えていくという意味が込められています。



赤絵牡丹

女性の美しい立ち振る舞いをあらわした「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」の中にも登場する牡丹は、百花の王とされ、幸福、富貴、高貴、豪華さといった花言葉があります。豊年の兆しとなるめでたい花「瑞花」として、幸福や富貴の象徴として描かれてきました。

ボディには、伝統的な有田焼の技法に加えて先端技術を駆使した李荘窯の技術が活かされ、美しい絵付けが存分に堪能できる形状を模索して辿り着いた流線形のスタイリング。蓋栓には李荘窯業所の仕事の証である「李」の一文字が記されています。滑らかで心地よい回転式ボールペンメカを採用し、レフィルは1.0mm芯を搭載。



●有田焼

佐賀県西部(有田町、伊万里市)で17世紀に日本で初めて作られた磁器。透き通るように白い磁肌と呉須(藍色の顔料)で描いた染付け、ガラス質の上絵具(赤、緑、黄、紫、青)を用いた華やかな赤絵が特長。耐久性が高く、美術品から日用品まで様々なものが生産されている。

●李荘窯業所

有田焼の陶祖 李参平の住居跡に開業した「李荘窯業所」。時代の移り変わりと共に、磁器彫刻の制作から、食器の生産へと変遷する。

そして今一。蓄積されてきた伝統と品質により、時代に左右されない美しいカタチを追求。

新しいことに挑戦し続け、今後も更なる努力を重ねていきます。

【製品スペック】

品名：有田焼ボールペン 染付波千鳥、赤絵牡丹

希望小売価格：88,000円(本体価格80,000円)

方式：回転式／芯色：油性ブラック

ボール径：1.0mm／替芯：18-0500

蓋・胴：有田焼

大先・リング：真鍮／ゴールドIP仕上げ

本体サイズ：150.2mm、53.8g

パッケージ

サイズ：181×84×63mm

重量：251.3g

セット内容：有田焼ボールペン、筆休め、
製品説明書、取扱説明書



机上での転がり止めに、
李荘窯製の筆休めが付属

【製品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス：0120-191-167(フリーダイヤル)

以上

《当リリースに関する問合せ先》

製品開発本部：03-6670-6605 木村(kimura-a@bungu.sailor.co.jp)

不在時：製品開発本部 徳増(tokumasu-k@bungu.sailor.co.jp)

※画像のご依頼は、木村(kimura-a@bungu.sailor.co.jp)までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要：セーラー万年筆株式会社(代表取締役社長 比佐泰) 東証二部：証券コード 7992

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス 10階

Tel: 03-6670-6601 URL: <https://www.sailor.co.jp>